学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築表現	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

他学科も選択できる授業で、他学科は建築設計デザインの基本的な知識・技術を学びながら、外部の設計競技に建築デザイン科の生徒と共同制作で参加します。２学期からは、各自で設計競技に参加し、プレゼンテーション力や模型制作などにおける造形力を鍛え、自身の作品を増やすことで入試や就職試験のためのアピールに繋げることができる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本・応用の建築設計を学び、設計技術を上げる。
【思考力、判断力、表現力等】
独自の設計デザインやコンセプトを設定し、それを反映させた作品制作ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
設計した図面やコンセプトを適切な方法でプレゼンテーションができる。設計者としてのリテラシーを持って考えることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外部の設計競技への応募、課題に取り組むことを通して社会に対する建築物の意義や効果を理解し、設計者としての意義や役割を理解している。	各設計競技の問題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識をもとに実践的な事例に対して設計者として適切に判断し表現する創造的・合理的な能力を身に付けている。	設計競技に関する課題について関心を持ちそれらの計画や設計に主体的に取り組もうとするとともに創造的・合理的に考える態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2	建築知識	基本的な住宅図面の模写 プランニングの基礎 木構造・軸組みについて 模型基礎	a.木構造の住宅設計に関する各分野の基本的な知識・技術を身に付ける。 b. 木構造の住宅設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基本的な知識・技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。 住宅設計の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用し、活かせている。 c. 木構造の住宅設計について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組む。	学習状況の観察	課題の取組状況	課題の進捗・提出状況
	グループ設計	各グループで設計競技の課題を仕上げる コンセプト立案 配置計画 図面作成 ３DCAD入力方法 図面レイアウト立案 外観パース作成・着彩	a.設計競技に関する各分野の知識・技術また応用を身に付ける。 b. 設計競技課題の解決をめざして思考を深め、基本的な知識・技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。 建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用し、活かせている。 c. 建築設計について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組む。			
2・3	個人設計	個人で設計競技の課題を仕上げる コンセプト立案 配置計画 図面作成 ３DCAD入力方法 図面レイアウト立案 外観パース作成・着彩				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度